



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 22 日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

（コード番号： 5721 東・大証第 1 部）

（URL <http://www.s-science.jp/>）

代表者 代表取締役社長 品田 守敏

問合せ先責任者 常務取締役 太田 洋三

T E L : (03) 3216 - 6431

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期（連結）業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（売上高・経常利益・四半期（当期）純利益）（注）（金額表示：百万円未満切捨）

	売上高		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	5,503	112.1	323		411	
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	2,595	37.8				
（参考）平成 17 年 3 月期	4,114	169.3	3,419		4,643	

（注）1. 売上高・経常利益・四半期（当期）純利益は、当第 3 四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、前年第 3 四半期比増減率を示しております。

3. 本年第 1 四半期業績より経常利益及び純利益を表示しております。

4. 本年第 1 四半期業績より（株）フェリックス及び（株）東理ホールディングス（持分法）の業績がそれぞれ連結対象となっており、当第 3 四半期において（株）東理ホールディングスにおける増資による持分変動差益を特別利益に計上しております。

<部門別販売実績>

（注）（金額表示：百万円未満切捨）

事業区分	当第 3 四半期		前第 3 四半期		（参考）前期	
	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 12 月 31 日		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 12 月 31 日		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	
ニッケル事業	2,181	百万円	1,939	百万円	2,702	百万円
不動産業及び 関連事業	637		102		438	
金属微粒子事業	4				4	
環境事業	4					
特別事業	400					
教育関連事業	2,275		554		969	
合 計	5,503		2,595		4,114	

[売上高に関する補足説明について]

当第 3 四半期の売上高は、前年同期比 112.1%の増加となりました。

増加の要因は、不動産及び関連事業の増加と教育関連事業の（株）フェリックスの売上高が加わったためであります。

(2) 当第 3 四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

（株）ウィンと（株）修学社は、平成 17 年 10 月 1 日付けで合併し（株）フェリックスとなっております。

[参 考]平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	8,840	170	840

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 0円 82銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 18 年 3 月期の通期（連結）の業績予想につきましては、別リリースの業績予想の修正に関するお知らせをご参照下さい。

（注）上記の業績見通しは、現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

以上



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (個別)

平成 18 年 2 月 22 日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

(コード番号: 5721 東・大証第 1 部)

(URL <http://www.s-science.jp/>)

代表者 代表取締役社長 品田 守敏

問合せ先責任者 常務取締役 太田 洋三

T E L : (03) 3216 - 6431

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

売上高 (又はこれに相当する事項) の会計 : 無
 処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期 (個別) 業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (売上高・経常利益・四半期 (当期) 純利益) (注) (金額表示: 百万円未満切捨)

	売上高		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	3,232	57.4	87		38	
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	2,053					
(参考) 平成 17 年 3 月期	3,169	30.4	2,024		3,229	

(注) 1. 売上高・経常利益・四半期 (当期) 純利益は、当第 3 四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、前年第 3 四半期比増減率を示しております。

3. 本年第 1 四半期業績より経常利益及び純利益を表示しております。

<部門別販売実績> (注) (金額表示: 百万円未満切捨)

事業区分	当第 3 四半期		前第 3 四半期		(参考) 前期	
	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 12 月 31 日		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 12 月 31 日		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	
ニッケル事業	2,181	百万円	1,939	百万円	2,702	百万円
不動産業及び 関連事業	641		102		438	
金属微粒子事業	4				4	
環境事業	4					
特別事業	400		12		24	
合計	3,232		2,053		3,169	

[売上高に関する補足説明及び現況について]

売上高は、当第 3 四半期の 3 ヶ月間は不動産関係取引の契約がずれ込み低調となりましたが中間期に計上の不動産及び関連事業と特別事業により前年同期比 57.4% の増加となりました。又、環境事業のコンポスト化システムは、既受注分 (民間 1 社) は 2 月中に完成しその後引渡しをする予定であり、その他民間数社から引き合いがきており、地方自治体も視野に入れ営業活動を行っております。又、排気ガス低減装置の 4 トン車は、東京都の認可取得に向け現在手続き準備中であります。

(2) 当第 3 四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成 17 年 12 月に、第 5 回新株予約権 9 千万株全株の行使により 46 億 8 千万円が入金されております。

[参考] 平成 18 年 3 月期の個別業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	5,970	680	730

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 0 円 71 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 18 年 3 月期の通期 (個別) の業績予想につきましては、別リリースの業績予想の修正に関するお知らせをご参照下さい。

(注) 上記の業績見通しは、現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

以 上